

地元企業に就職を 高校生に仕事PR

富良野 40社参加、合同説明会



企業のブースを回り、仕事内容などを聞く高校生

体検査部品を製造する上富良野町の「ニデックスVプローブ電子」の菅健一郎工場管理室長(52)は「高卒の社員は、本年度2人が入社し、来年度も1人を採用する予定。このイベントをきっかけに応募につながれば」と期待を寄せた。

上富良野高2年の宮尾星さん(17)は林業やサービスマスターのブースを回った。卒業後は就職を考えており「福利厚生も大切。資格取得制度がある会社に興味を持った」と話した。(川上舞)

【富良野】高校生に地元企業を紹介する合同企業説明会「ふらのしごとフェア」が3日、市複合庁舎で開かれた。富良野地方の高校1、2年生計76人が参加し、5市町村の企業40社のブースを回って仕事内容や待遇などの説明を受けた。

富良野市や旭川公共職業安定所など4団体が主催し、毎年行っている。

富良野高、上富良野高、南富良野高の生徒が15分ずつ計5回、各企業のブースを訪問し、担当者から事業内容や働き方について説明を受けた。

企業側はパンフレットや映像資料を使いながら自社の特長をPR。半導